

Ube  
宇部 I E C A 会報  
International Cooperative  
Report  
Environmental Association  
Ube IECA Report

— 発行 —  
宇部環境国際  
協力協会

No. 16

2014.5.



インドネシアブンカリス県研修員は、交流ボランティアの方々と広島平和記念資料館と原爆ドームを見学し、昼食には広島風お好み焼きに舌鼓をうちました。その後、世界遺産の宮島厳島神社と大鳥居を散策し、宮島の歴史と日本の建築美に研修員は感動していました。

## 環境自治体会議「ひかり賞」を受賞

環境自治体会議が募集した2013年度「わがまちの政策自慢」において、当協会の「海外研修生への「宇部方式」による環境保全技術研修」が、応募70件中から秀逸な事例であり、あたりを“ひかり”で照らし出すような、政策の広がりや波及性が認められる事例として「ひかり賞」を受賞しました。「わがまちの政策自慢」の賞にはこの他、キラリ大賞、アイデア賞、のぞみ賞があり、9件が選ばれ、当協会はそのうちの1件に選ばれたものです。

## 「宇部方式」研修の成果 フィリピンサンタロサ市で環境審議会設立される

自治体国際化協会（CLAIR）の自治体国際協力促進事業「フィリピン共和国サンタロサ市における「宇部方式」の精神を活かした環境改善システム研修事業」として2008年度から2年間で4名（環境行政官、企業管理職、大学教授）のサンタロサ市研修員を受け入れました。彼らは「宇部方式」研修において学んだ産官学民から構成される「環境審議会」の設立計画をファイナルレポート発表で約束し、帰国後その設立が期待されていました。

この度、サンタロサ市において「環境審議会」の設立条例が2011年度に制定され、運用が開始されたとの連絡を受けました。この条例はフィリピンラグーナ州における最初の制定とのことです。

この条例によると名称は「サンタロサ環境審議会」と命名されています。この審議会メンバーは**産**（ビジネス部門代表）、**官**（市長、SB環境委員長、環境天然資源省代表、ラグーナ湖開発公社代表、警察長官）、**学**（学究機関代表）、**民**（環境関連のNGO、女性セクター代表、住宅管理組合代表）、**その他**（メディア代表）の5セクターから構成されています。この審議会では、様々な環境に関する課題、問題及び解決策について議論し、その解決策を直接実行したり、該当団体へ環境計画を提案したりしています。また市環境条例の実施状況をモニターしたり、市議会へ環境計画を提案したりしています。また、この審議会における審議内容とその成果は、原則公開とされています。

「宇部方式」の研修の成果として、今後の順調な運用が期待されるようです。



## JICA（独立行政法人国際協力機構）草の根技術協力事業（地域提案型） 「ブンカリス県における環境改善協力」2年次

インドネシアブンカリス県は、熱帯泥炭湿地林が残るスマトラ島東北部にあり、石油の産出による経済開発が急速に進行しています。現在、生活環境改善と持続可能な自然保護をいかに進めるかが、大きな課題となっています。このような状況の下で、「宇部方式」の精神を活かしたブンカリス県環境基本計画の策定を通じて、ブンカリス県の環境管理の仕組みを強化します。平成24年度から3ヶ年計画でブンカリス県から研修員を受入れ「ブンカリス県における環境改善協力」研修を実施しています。

引続き、平成25年度は2年次として環境・森林・衛生・地域政策・計画の行政部局や高等専門学校の指導者を研修員として7名受け入れました。帰国後研修員は環境基本計画策定チームの一員として活動しています。

■ 研修実施主体	JICA、宇部市、宇部環境国際協力協会														
■ 期 間	平成26年1月12日～1月30日 19日間														
■ 研 修 員	<table border="0"> <tr> <td>インドラ</td> <td>ブンカリス県市場・清掃局 局長</td> </tr> <tr> <td>ヘルマン</td> <td>ブンカリス県公園・森林局 局長</td> </tr> <tr> <td>ソプヤン</td> <td>ブンカリス県開発計画庁 長官</td> </tr> <tr> <td>フィルダウス</td> <td>ブンカリス県地方開発計画庁インフラ部自然資源および企画計画課 課長</td> </tr> <tr> <td>ラフィアニ</td> <td>ブンカリス県開発計画庁技術部技術課 課長</td> </tr> <tr> <td>ヌルハサナ</td> <td>ブンカリス県環境庁環境再生課 課長</td> </tr> <tr> <td>ミルチャン</td> <td>ブンカリス県ポリテク 学長</td> </tr> </table>	インドラ	ブンカリス県市場・清掃局 局長	ヘルマン	ブンカリス県公園・森林局 局長	ソプヤン	ブンカリス県開発計画庁 長官	フィルダウス	ブンカリス県地方開発計画庁インフラ部自然資源および企画計画課 課長	ラフィアニ	ブンカリス県開発計画庁技術部技術課 課長	ヌルハサナ	ブンカリス県環境庁環境再生課 課長	ミルチャン	ブンカリス県ポリテク 学長
インドラ	ブンカリス県市場・清掃局 局長														
ヘルマン	ブンカリス県公園・森林局 局長														
ソプヤン	ブンカリス県開発計画庁 長官														
フィルダウス	ブンカリス県地方開発計画庁インフラ部自然資源および企画計画課 課長														
ラフィアニ	ブンカリス県開発計画庁技術部技術課 課長														
ヌルハサナ	ブンカリス県環境庁環境再生課 課長														
ミルチャン	ブンカリス県ポリテク 学長														
■ 研 修 先	宇部興産(株)、宇部地区環境保全協議会、(株)広島企業宇部テクノリサイクルセンター、(株)アースクリエイティブ、(株)中国水工、北九州市エコタウンセンター、北九州市環境ミュージアム、山口大学工学部、宇部フロンティア大学短期大学部、山口県、宇部市														

開講式



宇部市長を表敬訪問しました。



市民を前にカントリーレポートを発表しました。

研修風景



ときわミュージアムで彫刻の歴史と石炭記念館でかつての宇部の経済発展の原動力としての石炭について学びました。



宇部市の生物多様性保全対策について学びました。



宇部テクノリサイクルセンターでプラスチックのリサイクル施設を見学しました。



(株)アースクリエイティブで食品廃棄物のリサイクル施設を見学しました。



宇部市広瀬浄水場を見学しました。



リサイクルプラザを見学しました。



山口大学工学部で熱帯泥炭湿地の環境保全について学びました。



山口大学工学部でKJ法による環境基本計画策定を実習しました。



北九州市エコタウンで廃棄物のリサイクル工場を見学しました。

## 閉講式



JICA 中国国際センターから修了証を受領しました。



ファイナルレポートを発表するソパンさん。

## JICA 青年研修事業（フィリピン：都市環境管理コース）

フィリピンの将来の国づくりを担う青年 15 名が都市環境管理の研修を受けました。研修では宇部市が経験した激甚な粉じん公害を「宇部方式」により問題解決した経験や市内企業、大学等の環境保全技術を学び、幅広い環境保全対策・技術を理解しました。さらに、日本の再生可能エネルギー（地熱発電、風力発電、バイオマス発電、生ごみ発電）や宇部市の環境政策、環境保全対策について学びました。

■ 研修実施主体	JICA、宇部市、宇部環境国際協力協会
■ 期 間	平成 26 年 2 月 15 日～2 月 27 日 13 日間
■ 研 修 員	フィリピン共和国、青年行政官及び技術者 15 名
■ 研 修 先	宇部興産(株)、宇部地区環境保全協議会、 北九州市エコタウンセンター、日本環境安全事業(株)、 九州電力(株)八丁原地熱発電所、おおき循環センター、 (株)日田ウッドパワー、山口大学工学部、 宇部フロンティア大学短期大学部、山口県、宇部市

## 開講式



久保田市長を表敬訪問しました。



市民や関係者にジョブレポートを発表しました。

## 研修風景



環境保全と大学の役割について学びました。



宇部市の環境行政、環境教育、「宇部方式」による環境政策について学びました。



山口県大気汚染常時監視施設を見学しました。



宇部セメント工場で廃棄物の資源リサイクルを見学しました。



宇部フロンティア大学で市民行政協働について学びました。



(株)日田ウッドパワーでバイオマス発電施設を見学しました。



おおき循環センターで生ごみからバイオガス製造施設を見学しました。



北九州市エコタウンで自動車リサイクル工場を見学しました。

## 交流



デイスティ先のボランティアと山口瑠璃光寺を見学しました。

## 閉講式



研修の集大成として市民、関係者に対しプログラムレポートを報告しました。

無事研修が終了し修了証書を受領しました。



## JICA 草の根技術協力（地域提案型） 「ブンカリス県における環境改善協力」専門家派遣

「宇部方式」の精神を活かしたブンカリス県環境基本計画の作成を通じて、ブンカリス県の環境管理の仕組みを強化するため、平成 23 年度から 3 ヶ年計画で「ブンカリス県における環境改善協力」研修を実施します。

本年度は専門家を派遣し、環境基本計画策定の進捗状況について協議しました。その結果「環境基本計画策定チーム」が組織され、環境目標像についての産官学民の意見交換会の計画を確認しました。またブンカリス県の環境対策及び今後の計画について説明を受けました。さらに関連部署（ブンカリス県と国営石油採掘会社ペルタミナ社協働のごみ銀行、シナルマス社のミネラルウォーター生産施設の廃棄物処理対策、ブキットバトゥ生態系保護地区、石油関連会社シェブロン社の廃棄物処理対策、国営石炭石油ガス発電所、ブンカリス及びドゥリ浄水場）を訪問し情報交換しました。

■ 専門家派遣先	インドネシアブンカリス県
■ 研修実施主体	JICA、宇部市、宇部環境国際協力協会
■ 期間	平成25年12月14日～12月22日 9日間
■ 専門家	関根雅彦 山口大学大学院理工学研究科 教授 山本浩一 山口大学大学院理工学研究科 准教授 沼寿実男 宇部市ガス水道局水道事業部 大村浩誌 宇部市市民環境部環境政策課



ブンカリス県研究開発・統計局で本プロジェクトの進捗状況について、ブンカリス県職員等と協議しました。



国営石油探掘会社ペルタミナ社とブンカリス県の協働の取組み「ゴミ銀行\*」を視察しました。



ブンカリス浄水場で視察・協議しました。



ブキットバトゥの生態系保護地区を視察しました。



### Q ゴミ銀行とはなんですか？

A 住民のごみ分別意識向上を目指す取組です。ごみ銀行は、この取組に参加したい住民から、有機物はコンポストとして、無機物は資源ごみとして買い取り、ゴミ銀行口座に代金を振り込みます。住民は、所定期間後に預金を引き出すことができます。ゴミ銀行は買い取った資源ごみに付加価値を付けて販売したり、プラスチックのカレット業者に売却したりして運営資金を得ています。

## その他研修員受け入れ

### JICA 集団研修「大気汚染管理」コース

研修実施主体：KITA（北九州国際技術協力協会）  
期 間：平成25年5月24日（1日間）  
研 修 員：ホンジュラス、モンゴル、セネガル、スリランカ 計6名  
研修視察先：宇部市



### 平成25年度 JICA国別研修(バングラデシュ)「地方行政能力強化コース」

研修実施主体：JICA、山口大学、明治大学  
期 間：平成25年9月10日（1日間）  
研 修 員：バングラデシュ 4名  
研修視察先：宇部市

## 宇部環境国際協力協会設立15周年記念講演会

◇平成25年10月26日(土)  
◇宇部市シルバーふれあいセンター  
共催：宇部市  
後援：山口県、JICA中国国際センター、  
(株)宇部日報社、FMきらら  
演題：「水ビジネスへの挑戦と国際環境協力の新展開」  
講師：立命館大学政策科学部教授 仲上健一 氏



## 中小企業海外展開支援セミナーの開催

◇平成26年1月23日(木)

◇宇部市文化会館

主催：宇部市

共催：宇部環境国際協力協会等

演題1：「海外経済交流のすすめ

～日本とインドネシアの経済交流の展望～

講師：インドネシア総領事館

演題2：「海外展開支援メニューの紹介」

講師：中国経済産業局等

## 環境国際セミナーの開催

### (1) 第1回環境国際セミナー

◇平成25年6月17日(月) (平成25年度総会後)

◇宇部市文化会館

共催：宇部市

演題：「JICA草の根技術協力事業の専門家派遣報告と今後の展開  
～インドネシアブナリス県における環境改善協力～」

講師：山口大学名誉教授

宇部環境国際協力協会理事長 浮田正夫 氏



## 環境保全技術講座の開催

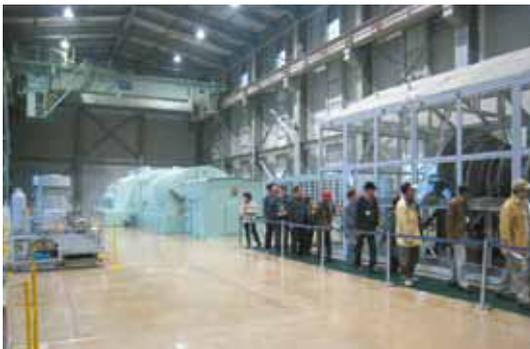
### 第1回

◇平成25年4月20日(土)

◇九州電力(株)八丁原地熱発電所見学

後援：宇部市

一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇せず繰り返し使え、発電時や熱利用時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しないと言われる地熱発電所について理解を深めました。



### 第2回

◇平成25年8月30日(金)

◇宇部市文化会館

共催：宇部市

演題：「シェールガス革命の現状と今後の展望  
～経済発展と環境問題～」

講師：帝京平成大学 現代ライフ学部

経営マネジメント学科教授 須藤繁 氏



## 広報活動

平成 25 年 9 月 21 日 (土)

銀天エコプラザ前広場



「第 9 回まちなかエコ市場」で当協会の取り組みについてパネル展示を行いました。

平成 25 年 11 月 3 日 (日)

新天町ハミングゾーン



宇部まつり「あおぞらゾーン」で当協会の取り組みについてパネル展示を行いました。

平成 26 年 3 月 21 日 (祝)

銀天エコプラザ前広場

「第 11 回まちなかエコ市場」で当協会の取り組みについてパネル展示を行いました。

## 交流ボランティアの活動

当協会交流ボランティアは研修員との交流や、日本文化、歴史の理解を図るため研修員のサポートをしました。

JICA 青年研修 (フィリピン) ではボランティア宅を訪問し、お好み焼きを作り、宇部市内を探訪しました。また JICA インドネシアブンカリス県研修では広島平和記念資料館や宮島厳島神社を探訪し、交流しました。



フィリピン研修員とお好み焼きを作る交流ボランティア。



インドネシアブンカリス県研修員と宮島を視察する交流ボランティア。

## 平成25年度 総会



平成 25 年 6 月 17 日 (月) に開催し、前年度事業報告、新年度事業計画が審議、承認されました。

## ボランティアのお願い



国際交流および技術支援のボランティアを募集しております。皆様方の事情に合ったボランティアを積極的に行っていただけませんか。

### <国際交流ボランティア>

今後、海外から多数の研修生が、宇部市を訪れると思われます。外国語 (英語、スペイン語、中国語等) の会話が可能な方で、休日のホームステイ、市内外の案内等をしていただきます。

### <技術支援ボランティア>

環境技術をお持ちの方で、海外研修生の受け入れのための研修コースの策定、研修生の受け入れ、途上国環境対策調査等をしていただきます。

## 会 / 員 / 募 / 集

現在の会員数

- 個人 200 人
- 法人団体 50 団体

宇部 IECA は会員の皆様の会費により運営されております。

会費は次のとおりです。

- ★個人会員 1 口 1,000 円 (年額)
- ★法人団体 1 口 10,000 円 (年額)
- ★何口でも可

宇部方式は、市民の皆様が積極的に参加するところにあります。「会員になって一緒に国際交流を行ってみませんか」と知人等へのお誘いをお願いします。

発行  
事務所

**宇部 IECA**  
**宇部環境国際協力協会**

〒 755-0045

山口県宇部市中央町三丁目 12 番 19 号

オフィス OHI 201

TEL・FAX (0836) 36-3199

E メール info@ieca.biz

URL http://www.ieca.biz